

労災ケア通信

第92号

2025年8月15日

発行：一般財団法人
労災サポートセンター

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-1-3
飛栄九段北ビル10F

TEL 03-6834-2510 (代表)

FAX 03-6834-2530

ホームページアドレス

<https://www.rousaisc.or.jp>

ケアプラザだより

ケアプラザ岩見沢

「第二の人生」

入居者 内海幸子

昨年8月に長く暮らした十勝から岩見沢へ来た。車窓には田畑が広がり更に進むとケアプラザは丘陵地に建っていた。

門を入ると、!! 丘、丘、丘、松、白樺、もみじ、散歩道が伸び、トンボが遊ぶ。なんと素晴らしい景観。



ボッチャ大会の様子



優勝の賞状を手に笑顔の内海様

今回ここから第二の人生が始まる。ホッとして胸に手を当てた!!

清々しい空気と手厚い介護の中で徐々に元氣を取り戻し、お茶会に参加のお作法に触れた。

11月にはボッチャ競技に初挑戦。

「優勝してしまった」が実感。冬は初めて豪雪地で過ごし、節分には羽織袴の年男・年女が豆まきをして私の所にも豆やお菓子が沢山飛んできた。季節が移ろい、木々が芽吹き新緑の風がわたる5月、2回目のボッチャ大会に参戦。沢山の声援と運が味方してまたもや優勝。

各種行事やゲームなど、皆さんと触れ合う交流でとても楽しいです。これから一層のお手間を頂きますが、お陰様で充実した日々をかみしめています。

「介護業務の施設間交流」

総務課

全国8ヶ所にあるケアプラザでは、介護業務の改善や介護水準向上を目的として、介護職員による施設間交流を行っています。

令和7年度も実施されることになり、私達の施設ではまず宮城施設から看護師1名と介護士1名を受け入れ、6月16日(月)～20日(金)の日程で交流を行いました。

宮城施設の職員の方達は、慣れない施設で介護業務を行うことに、はじめは戸惑いがあったと思いますが、入浴での搬送業務や食事配膳などを私達と一緒に行うことで、自分たち

施設間交流で介護業務に取り組む
宮城施設の職員達

の施設とは違う部分をたくさん経験することができたと思います。

次は私達の施設から職員が宮城施設に行くことになりましたが、この交流から互いの施設の良い部分を積極的に取り入れて、それぞれの施設で今後のより良い介護サービス提供に繋げていきたいと思っています。

ケアプラザ富谷

「春のミニ旅行」

介護課 佐々木恵子

5月21日(水)、春のミニ旅行で「仙台つみの杜水族館」に行ってきました。館内に入ると、まず、三陸の海を再現した巨大な水槽が目に見え、サメなど様々な魚が悠々と泳ぐ姿は

圧巻でした。

次に、魚の塗り絵をして、その絵をプロジェクトで映すと泳ぎ始めるという体験をし、入居者の皆様と一緒に楽しみました。昼食は、水族館近くのアウトレットパークでいただきました。

その後、NX仙台港パークに移動し、満開のツツジを眺めながら展望台まで上り海を眺めました。また、釣り人とおしゃべりをし、釣り上げたシヤコエビを見せていただく貴重な体験もできました。



NX 仙台港パークにて記念撮影



大迫力の巨大水槽！

験もできました。

コロナ禍を経て数年ぶりに実施したミニ旅行は天気に恵まれ、海風や潮の匂いを感じた旅となりました。

「富谷カフェ、今年も開催！」

総務課 荒井いずみ

毎年大人気の富谷カフェを今年も6月4日（水）に開催しました。

前日までの雨が嘘のような晴れ渡る青空の下、施設の中庭や玄関ホールには色鮮やかな花が飾られたテーブルが並べられ、カフェの雰囲気漂っていました。

参加者の皆様にはスイーツや淹れたてのコーヒー、紅茶が振る舞われ、リラックスした様子でしゃべりを楽しむ姿が見られました。

このイベントを通して普段よりも入居者の皆様同士のコミュニケーションを深める素晴らしい機会にもなり、会場では小さなグループの輪ができて



中庭の「カフェ」でくつろぎのひととき

お互いの趣味について語り合ったり、おひとりでゆったりとした雰囲気味わったりと皆様思い思いに過ごしていらっしやいました。

最後に、このカフェイベントにご参加いただいた皆様に心から感謝いたしますと共に、準備に携わったスタッフに感謝します。また次回、楽しい時間を共に過ごせることを楽しみにしております。

ケアプラザ四街道

「佐倉草ぶえの丘でバラを満喫しました」

行事委員会

新緑がまぶしい5月、入居者の皆様と共に、千葉県佐倉市にある佐倉草ぶえの丘へバスハイイクに出かけました。

当日は快晴に恵まれ、まさに絶好の行楽日和。車の中でも皆様の期待に満ちた表情が見て取れました。

到着してみると、広大な敷地には美しく咲いたバラが咲き誇り、園内は甘い香りに包まれていました。まるで絵画を見ているような光景に、入居者の皆様はとても満足されたようでした。

皆様は、園内の順路を車イスでゆっくりと進みながらバラを一輪一輪



華やかにバラが咲き誇る園内の様子

じっくりと眺めたり、華やかに咲く花の前で撮影を楽しんだり思い思いにバラを満喫されました。お一人お一人の生き生きとした姿を拝見することができ、私たち職員にとっても嬉しい小旅行となりました。

ほんのひと時ではありましたが、美しいバラに囲まれて心癒される時間を過ごすことができ、入居者の皆様にとっても私たち職員にとっても記憶に残る素晴らしい一日となりました。

「皆様はじめまして」

管理栄養士

はじめまして、昨年11月にケアプラザ四街道へ入職しました管理栄養士の工藤晴子です。

私はいま、想像以上に広い施設に驚きながら、入職以来毎日新鮮な気持ちで働いています。

入居者の皆様には快く受け入れて

いただき、気軽に話しかけていただいて嬉しく思います。施設の食事の感想や提供方法に関する要望などをいただいた時は、厨房スタッフや施設の職員と協力しながらより良い食事となる方法を模索しています。そんな協力し合える環境があるケアプラザでの栄養管理業務にはとてもやりがいを感じています。

また、全国各地のケアプラザの先輩栄養士・管理栄養士のみなさんと連絡をとり、メールや電話で相談をして解決策を教えてくださいたりアドバイスをいただいたり、とても助かっています。

まだまだ手探りの毎日ですが、入居者の方々の日々の生活に直接かわっていくことのできる給食業務を通じて、入居者の皆様が気軽に相談できる存在になりたいです。食事を通じてケアプラザに来てよかったと言っていたるように頑張ってい



作成した給食新聞を手にする
工藤管理栄養士

きたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

ケアプラザ瀬戸

「アクア・トトぎふ 見学会に参加して」

入居者家族 神谷 生恵

昨年5月から夫がお世話になっているケアプラザ瀬戸より「今度『アクア・トトぎふ』に行きますが、ご家族もいかがですか。」と誘われ、息子と二人で参加しました。

「アクア・トトぎふ」は愛知県と岐阜県の境にある淡水魚に特化した水族館で、周りは広大な公園になっていて家族連れが一日楽しめる場所です。前日の大雨から一転、爽やかな晴天に恵まれた6月4日、アクア・トトの入り口でケアプラザの方々と待ち合えました。

この日は施設の方々と一緒に夫の



向かって一番左、ご一緒に観覧される
神谷様の息子様



向かって左側のお二人が神谷様ご夫妻

車椅子を押して珍しい魚を見学したり、昼食をとったりと、令和3年に大怪我をしてから久しぶりに長時間一緒に過ごすことができました。

昼食後に入った土産物屋で、ゆっくり行動される入居者の方に合わせてケアプラザのスタッフの方は楽しそうに相手をされていて、夫はとても温かい施設に入れていただけて良かった、これからも穏やかに過ごしてもらいたいと心から思える一日でした。

「バスの旅 淡水魚の水族館へ」

介護課 津曲 裕宣

『世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ』へのバスの旅はコロナが流行する前に実施した事があり、個人的には10年ぶりの訪問でした。当日は梅雨前の晴天で絶好のお出かけ日和となりました。施設のバスに入居者の皆様6名、職員6名が乗り込み、1時間ほどで目的地に到着しました。



小旅行のしめくくりは皆様で記念写真！



ゆっくりと鑑賞

現地では入居者の皆様のご家族様2名も合流して入場し、およそ2時間、皆様それぞれのペースでゆっくり観覧を楽しめました。

『アクア・トトぎふ』は比較的新しいタイプの水族館で、まずエレベーターで最上階まで上がってから各階へはスロープでくだっていくため、車椅子でもスムーズに見てまわることでできます。そして水族館といっても淡水魚のみの展示というのもみどころのひとつです。建物の外にで

ると高速道路のパーキングエリアと連結しているため、お食事処や土産物屋もあり入居者の皆様は、それぞれに好きな食べ物を召し上がり、自分への土産を買って楽しいひとときを過ごされていました。往復で6時間ほどの小旅行でしたが、久しぶりの遠出となり入居者の皆様、そして現地で合流したご家族の皆様も大変喜んでくださいました。

施設に『彩(いろどり)』を

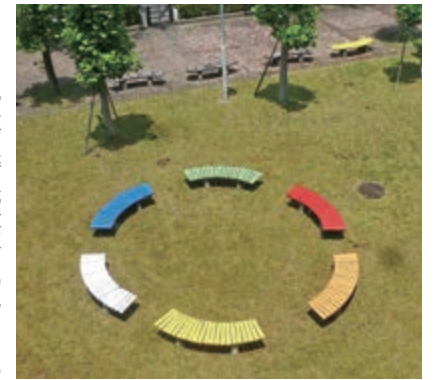
彩化推進部

「ケアプラザ瀬戸を花でいっぱいにしたい。彩りをもっと添えたい」と介護課長から提案があり、会計係長が『ケアプラザ瀬戸彩り化大作戦』を計画しました。

まずは職員が家で不要になったプランターや花の種を持ち寄り、施設の入口や玄関に飾りつけをしました。



カラフルな花を添えて、入口を華やかに！



大屋根リングをイメージしたベンチの輪

また、設備委託業者の皆さんや職員で協力し、古くなった施設のベンチを塗装し、大阪万博の「大屋根リング」をイメージしてカラフルな円状に配置してみました。

入居者の皆様からは「玄関に花があるってすごく良い」「ベンチの次の色は青にして下さい」などの声が寄せられ、お喜びいただけて何よりです。また、来訪されたご家族の皆様からは「施設が華やかになった」とのご意見も頂き、彩り化大作戦は大成を収めました。

ケアプラザ堺

『ドキドキの施設生活』

入居者 土佐 正雄

施設に入居して早2ヶ月が経ちました。



楽しみなお食事！食堂入口で、土佐様

平成2年に受傷し、高度治療を1年ほど受けることになりました。病院を転々とした後、内服治療の継続のための通院となり、市営住宅での一人暮らしが始まりました。

支えあつて生活していた妻を病気で亡くした時は、辛くて自分も…という気持ちになる位にショックでした。気持ちとともに筋力も低下し始め、不安ばかりが募るようになりました。

そんな時、頼りになる姪に連絡し「以前から届いていたケアプラザ施設に入りたい」と相談してみると、書類や電話連絡もすべてやってくれて、入居日を迎えました。

老人ホームの悪いイメージしかなかった自分は、皆さん親切で、毎日おいしい食事を提供してくれることに驚いています。今はずっとここにいたいと思っています。どうぞよろしく願っています。

好きな料理を思い思いに！

久しぶりの外食

介護課

6月11日(水)久しぶりの買い物ツアーを実施しました。コロナウイルスによる行動制限も徐々に緩和され、前回までは買い物のみでしたが、今回はスーパービバホーム美原南インター店へ出かけ、食事も楽しみました。参加された皆様は、店内のフードコートで好きな料理を選んで注文し、久しぶりの外での食事を満喫していました。長い間施設内での生活が続いていたので、参加された皆様は外の空気や店内の活気ある雰囲気になれることができ、とても喜んでいました。今後も感染対策を徹底しながら安全に楽しめる行事を企画し、コロナ禍前のような生活に少しずつでも戻っていったら良いと思います。



美味しいカレーに舌鼓

ケアプラザ呉

『第2回グランドゴルフ大会』

介護課

5月14日（水）ケアプラザ呉では、「第2回グランドゴルフ大会」を開催しました。

当日は5月とはいえ日差しが強く、急遽冷たいお茶を準備し、競技の合間に水分補給をしながらの開催となりました。

大会には、入居者9名と職員3名のあわせて12名が参加し、競技を楽しみました。

参加された入居者の皆様は大変面白い表情で競技に取り組まれ、中にはいきなりホールインワンを出された方もいらつしやいました。ご本人は、「入ったー!」と大きな声で叫ばれ、喜びを表現されていました。他の入



最終ショットは慎重に！

居者の皆様そして職員も歓声と拍手で大盛り上がりとなりました。

初めて参加された方は、「またやりたいね」と次回の開催を心待ちにされています。

今後も入居者の皆様が体を動かしながら思いきり楽しめるよう、施設行事を盛りあげていきたいと思っています。

『第3回オリエンテーリング』

介護課

6月4日（水）、ケアプラザ呉では「第3回オリエンテーリング」を開催しました。昨年は施設外周で開催しましたが、6月とはいえ気温が高く熱中症の危険もあるため、今年は屋内での開催に変更し、施設内1階フロアを使用しました。当日は過去最多の18名の入居者の皆様が参加されました。

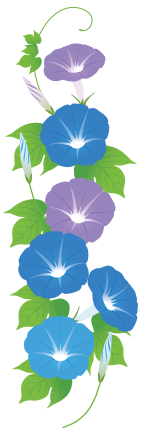
最初に各チェックポイントの場所



サイコロの目勝負!!

やルール説明を行い、入居者の皆様は順次スタートされました。職員が投げたサイコロの目より多ければ勝ちという「サイコロの目勝負」、剣を3本選んで黒ひげが飛ばなければ勝ちとなる「黒ひげ危機一髪」、3個のコップの中に1つだけあるボールを当てたら勝ちとなる「コップのボール当て」、じゃんけんで先に3回勝つことを競う「じゃんけん3本勝負」といった4カ所のチェックポイントを設けました。それぞれのポイントをクリックすると、スタート地点で配付したカードに着ぐるみを着た職員からスタンプを押してもらい、入居者の皆様はそれぞれ最終ゴールを目指しました。

普段の生活では職員が車いすの介助をしている入居者の方々が、会場で少し自走されたり、入居者の皆様の普段とは違う表情や、笑顔が多く見られたりと、イベントを通して良い刺激にもなったようです。「楽しかった」、「いい運動になった」等の声も聞かれ、これからも入居者の皆様に楽しんでいただける行事として、盛りあげていきたいと思っています。



ケアプラザ新居浜

ケアプラザ新居浜に入居して

入居者 梅田 石夫

私は以前、大型貨物船の航海士として世界中の海を巡っていました。

4年前、船の停泊準備中に労災事故に遭い、右下腿を切断し、障害を負いました。

自宅がバリアフリーではなかったため、家族の介護負担を軽減したいと考え、介護施設を探していました。そんな時、「ケアプラザ」の案内を見て、ここなら安心して生活できると感じ、入居を決めました。

入居してまだ日は浅いですが、ケアプラザのサポートのおかげで、徐々に新しい生活に慣れてきています。ここで生涯にわたって暮らしていきたいと思っています。



はじめての行事(七夕会)に参加され、他の入居者の方と楽しめる梅田様(向かって右側)

これから様々な施設行事にも参加して、他の入居者の方々とも親睦を深めていきたいと考えています。ケアプラザに入居できて本当に良かったと感じています。

「施設の皆様に安全と安心を」

警備責任者 伊藤 壽夫

平成29年、ケアプラザ新居浜の警備員として着任以来、昼夜を問わず皆様の安全と安心の確保に努めてまいりました。

特に力を入れているのが敷地内の安全管理です。例えば、休日など、外部からの車両の進入を制限し、ご入居されている皆様が車いすでも安心して通行できるよう、正面出入口付近で可動式バリカーの上げ下げを行っています。当初、砂塵などの影響で車道部分のバリカーが動きにくくなることもあり、代わりにトラロップを設置して反射テープを張り付



自作の反射板を披露する伊藤警備員

けていました。しかし、風雨でテープが劣化し、視認性が低下して外部からの車両が誤進入してしまう恐れがありました。そこで、より安全で見やすいものとなるよう、プラスチック板に反射テープを貼り、糸でしっかりと固定する改良を施しました。この改善で外からの誤進入がなくなり、ご入居されている皆様が安全・安心して敷地内を通行できるようになりました。

これからも、ご入居されている皆様が安心して過ごしていただけるよう、引き続き警備業務に努めてまいります。

ケアプラザ宇土

バスハイクに参加して」

入居者 岩上英一

絶好の行楽日和に恵まれた6月4日（水）、ケアプラザ宇土の施設行事のバスハイクで「阿蘇くまもと空港」に行ってきました。

令和6年10月にリニューアルされ、昔の空港より大きくて広くなっているとは聞いていましたが、昔とは全然違う建物の大きさに吃驚してしまいました。

展望デッキに上り、飛行機の離着陸を眺めていますと、昔の事が思い



飛行機をバックにハイチーズ!!
(写真向かって一番右、ピースのポーズをとる岩上様)

出されました。昭和57年栃木県で開催された天皇陛下御臨席の全国植樹祭に熊本県の代表として飛行機を利用して出席予定となっていた矢先、労災に遭い、楽しみにしていた夢も儚く消えてしまいました。悲しいことを思い出してしまいました。施設の仲間や職員さんと新しくなった阿蘇くまもと空港に行き、悲しかった思い以上に楽しい思い出ができました。

ケアプラザ宇土にお世話になって早5年。こうして色々な計画を立てていただき、ドライブを最高の楽しみにしています。諺に言う感謝感激雨アラレと言うところです。

「作品展に出席して」

入居者 村田茂男

私は、令和5年に千葉施設から熊

本施設に移ってきました。今回、熊本施設に移ってきて最初の作品（書）を9月開催の「第20回労災重度被災者作品展」に出展します。好きな文字や言葉を書き留めておくことを日課としています。筆を使って字を書いていると心が落ち着きます。書始めてから20年になります。今後も続けていきたいと思っています。



作品を完成させて、笑顔の村田様

第20回 労災重度被災者作品展

開催日：令和7年9月10日(水)～12日(金)
会 場：大阪府立男女共同参画・
青少年センター（ドーンセンター）
所在地：大阪府大阪市中央区大手前
1丁目3番49号

皆様のお越しを
お待ちしております